



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	4,839	24.0	△30	—	1	△98.9	△9	—
25年6月期第3四半期	3,901	20.4	141	65.0	151	80.3	63	△13.1

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 △4百万円(—%) 25年6月期第3四半期 88百万円(33.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	△2.20	—
25年6月期第3四半期	15.21	—

(注) 1. 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 25年6月期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 26年6月期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	3,394	595	17.5
25年6月期	2,671	734	23.9

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 594百万円 25年6月期 637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金は2,200円となり、年間の1株当たり配当金は2,200円となります。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	26.4	85	△50.9	150	△14.3	90	5.9	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益に

については、株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) マイ・サクセス株式会社、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	5,076,000株	25年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	855,700株	25年6月期	786,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	4,236,539株	25年6月期3Q	4,176,600株

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期末自己株式数並びに期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、雇用情勢の改善や企業の設備投資に一部回復の動きが見られる等、緩やかな景気回復の兆しがみられるものの、海外景気に対する不安感や原材料価格の高騰、消費税増税による消費減退の可能性など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、取巻く環境の急激な変化に対応するための体質強化を図るべく、積極的なM&Aの推進及び拠点の新設、大幅な組織改編等、各事業における売上拡大へ向けた施策を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、4,839,527千円(前年同期比24.0%増)、利益面におきましては諸経費や人件費及びその他販売管理費の削減を推進しておりますが、メイン事業である生花祭壇事業における売上高が、計画より低調に推移したことに伴い、営業損失は30,750千円(前年同期は141,039千円の営業利益)、経常利益は1,721千円(前年同期比98.9%減)、四半期純損失は9,333千円(前年同期は63,519千円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,424,353千円(前年同期比0.5%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成25年7月から平成26年2月までの売上高は401,448百万円(前年同期比1.0%増)、取扱件数は284,532件(前年同期比0.7%増)と葬儀単価は横ばいで推移しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です(同調査は、平成25年4月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成25年3月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このように葬儀業全体では市場は拡大しておりますが、葬儀業における各カテゴリー(葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等)別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化や単価の下落傾向が続いております。

このような状況の中で、当事業では単価下落による売上の減少をカバーするべく、拠点新設や大幅な組織改編、低価格帯商品の企画提案等による、新規顧客獲得・既存顧客の発注シェアアップやリピート件数獲得を図ってまいりました。

具体的には、平成25年10月に「関東受注センター」を新設し関東地区における機動的な受注システムを構築、同月に東京都新宿区に「落合営業所」、同年12月には「長野支店」をそれぞれ新設するなど業務効率化と売上拡大へ向けた施策を実施し、更には関東地区における商品規格を見直すなど、原価低減による粗利益率向上へも取り組みました。

一方で、台湾子会社の美麗花壇股份有限公司による事業再編の一時的な収益の悪化、円安による原価率の上昇、1件あたりの施行単価の下落傾向により営業利益は133,116千円(前年同期比60.3%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、1,123,637千円(前年同期比73.3%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成26年2月)によると、平成25年7月から平成26年2月までの切花累計の取扱金額

は38,600百万円(前年同期比3.4%増)、数量では596百万本(前年同期比2.1%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少傾向にあります。当事業では、引き続き既存顧客並びに新規顧客への積極的な販売促進活動が奏功したこと、及び第2四半期連結会計期間中に完全子会社化したマイ・サクセス株式会社について、当第3四半期連結会計期間から同社の業績を連結損益計算書に反映したことにより、売上高は増加いたしました。一方、組織改編等に伴う販売管理費増加の影響により、営業利益は102,555千円(前年同期比3.0%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は343,128千円(前年同期比54.1%増)となりました。少子化と非婚化の影響を受け、婚姻件数は減少傾向にあるものの、オリジナル挙式志向の高まり、結婚年齢の上昇等による費用の増加を背景に大きな市場規模が保持されております。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成25年6月から平成26年2月までの結婚式場業の売上高は109,520百万円(前年同期比2.6%減)、取扱件数は36,811件(前年同期比2.7%減)となっております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、平成25年1月に株式会社Standing Ovationよりブライダル装花事業を譲り受け事業拡大を図ったほか、積極的な営業活動を実施した結果、営業利益は55,308千円(前年同期比127.1%増)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建築事業の売上高は761,741千円(前年同期比73.1%増)となりました。土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業を行っております。熊本県内の近年の工事内容を見ると、災害対策として河川などの維持・修繕工事に加え、安倍政権の経済政策「アベノミクス」による公共投資の増加が寄与しております。今後も公共工事件数の大幅な増加に伴う資材や人件費の高騰等懸念材料は残るものの、この傾向は暫く堅調に推移するものと思われれます。この結果、営業利益は22,459千円(前年同期比94.3%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業及び不動産管理事業を行っております。売上高は186,666千円(前年同期比20.3%増)、営業損失は4,256千円(前年同期は8,333千円の営業損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、貸借及び管理を行っております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ723,641千円増加し、3,394,781千円となりました。これは主に完成工事未収入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ862,666千円増加し、2,798,814千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ139,024千円減少し、595,967千円となりました。これは主に、利益剰余金、少数株主持分の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期通期連結業績予想については、平成26年2月7日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年10月1日にマイ・サクセス株式会社の株式を取得したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社は連結子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,847	710,182
受取手形及び売掛金	497,759	645,176
完成工事未収入金	2,639	458,180
商品	5,798	12,707
仕掛品	1,956	8,277
原材料及び貯蔵品	23,920	27,056
未成工事支出金	308	138
その他	101,862	146,941
貸倒引当金	△15,552	△16,275
流動資産合計	1,392,539	1,992,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,132	440,831
減価償却累計額	△148,680	△164,157
建物及び構築物(純額)	237,451	276,674
車両運搬具	170,650	194,818
減価償却累計額	△91,280	△123,429
車両運搬具(純額)	79,369	71,388
工具、器具及び備品	195,546	196,857
減価償却累計額	△145,818	△148,639
工具、器具及び備品(純額)	49,727	48,218
土地	242,627	235,091
その他	21,211	25,092
減価償却累計額	△11,096	△12,109
その他(純額)	10,114	12,983
有形固定資産合計	619,290	644,355
無形固定資産		
のれん	114,716	143,047
その他	9,996	18,472
無形固定資産合計	124,713	161,519
投資その他の資産		
投資不動産	182,571	210,697
減価償却累計額	△13,404	△15,417
投資不動産(純額)	169,166	195,280
差入保証金	170,836	189,549
その他	242,477	242,414
貸倒引当金	△47,884	△30,725
投資その他の資産合計	534,596	596,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
固定資産合計	1,278,600	1,402,394
資産合計	2,671,140	3,394,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,929	295,337
短期借入金	453,507	1,129,500
1年内返済予定の長期借入金	375,463	397,755
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払金	66,398	64,494
未払法人税等	49,156	6,315
賞与引当金	6,911	15,558
その他	269,029	316,167
流動負債合計	1,359,395	2,245,129
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	488,516	487,314
退職給付引当金	27,696	32,262
その他	20,540	14,108
固定負債合計	576,753	553,684
負債合計	1,936,148	2,798,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	438,095	403,022
自己株式	△156,922	△178,643
株主資本合計	636,468	579,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	373
為替換算調整勘定	777	14,154
その他の包括利益累計額合計	1,187	14,527
新株予約権	—	1,764
少数株主持分	97,334	—
純資産合計	734,991	595,967
負債純資産合計	2,671,140	3,394,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,901,830	4,839,527
売上原価	3,149,154	4,079,238
売上総利益	752,676	760,289
販売費及び一般管理費	611,636	791,039
営業利益又は営業損失(△)	141,039	△30,750
営業外収益		
受取利息及び配当金	872	937
貸倒引当金戻入額	70	18,976
受取賃貸料	9,420	14,950
その他	23,042	27,232
営業外収益合計	33,405	62,096
営業外費用		
支払利息	11,483	12,094
不動産賃貸費用	3,395	3,710
為替差損	6,200	2,310
雑損失	865	10,055
その他	1,059	1,454
営業外費用合計	23,003	29,625
経常利益	151,441	1,721
特別利益		
受取損害賠償金	—	17,438
その他	—	138
特別利益合計	—	17,576
特別損失		
固定資産除売却損	13,770	3,842
長期前払費用償却	—	7,857
その他	3,883	237
特別損失合計	17,653	11,937
税金等調整前四半期純利益	133,788	7,360
法人税、住民税及び事業税	53,234	8,356
法人税等調整額	95	16,508
法人税等合計	53,329	24,865
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	80,458	△17,504
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,939	△8,171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,519	△9,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	80,458	△17,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,195	△57
為替換算調整勘定	9,226	12,600
その他の包括利益合計	8,030	12,542
四半期包括利益	88,489	△4,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,936	4,007
少数株主に係る四半期包括利益	21,552	△8,969

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,435,440	648,409	222,705	440,089	3,746,645	155,185	—	3,901,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	698,784	5,855	—	704,639	10	△704,649	—
計	2,435,440	1,347,194	228,560	440,089	4,451,285	155,195	△704,649	3,901,830
セグメント利益又は損失(△)	335,072	105,681	24,349	11,560	476,664	△8,333	△327,290	141,039

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及び不動産管理事業を含めております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△327,290千円には、セグメント間取引消去2,202千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△329,493千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ブライダル装花事業」セグメントにおいて、平成25年1月1日付で株式会社Brilliaの装花事業を譲り受けいたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては32,120千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,424,353	1,123,637	343,128	761,741	4,652,861	186,666	—	4,839,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	57	744,576	3,450	—	748,084	2,844	△750,928	—
計	2,424,411	1,868,214	346,579	761,741	5,400,946	189,510	△750,928	4,839,527
セグメント利益又は損失(△)	133,116	102,555	55,308	22,459	313,439	△4,256	△339,933	△30,750

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△339,933千円には、セグメント間取引消去31,287千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371,220千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「生花卸売事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にマイ・サクセス株式会社の株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては39,305千円であります。